

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月29日

宮崎市長 清山知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市大字瓜生野 3909-40
名 称	北地区振興会 (まちづくり推進委員会)
代表者の氏名	会長 長友 安弘
電話番号	0985-41-3512

令和4年5月27日付けで変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

1 提出書類

- ①事業実施報告・収支決算（見込）書
- ②事業別収支計算書
- ③宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書（決算書添付）
- ④地域まちづくり推進委員会備品管理台帳の写し

(様式第6号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算(見込)書

北地域自治区

北地区振興会(まちづくり推進委員会)

1 総括

コロナ禍で17事業のうち、2つの事業を実施することができなかったが、残りの15事業については、細かい感染対策を行いながら実施することができた。新規の「健康ウォーキング事業」は講師の先生をお招きし、歩行の基本やウォーミングアップ・クールダウンなどについてしっかり身につけることができた。また2年目の4部会推進研修事業では、各部会のリーダーの方々からまちづくりの魅力を発信するためのヒントを多数、習得できた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	2,159,000	2,159,000	0	
繰越金	464,525	464,525	0	
雑収入	375	36,950	36,575	利息・特産物売上
合計	2,623,900	2,660,475	36,575	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	子供見守り事業	14年目	100,000	85,293	▲14,707	
防	防災訓練事業	14年目	80,000	12,980	▲67,020	
防	北地区青色パトロール推進事業	2年目	60,000	34,395	▲25,605	
福	ふくしま祭り事業	5年目	80,000	9,180	▲70,820	
福	福祉推進研修事業	14年目	130,000	122,330	▲7,670	
福	子育て支援事業	14年目	80,000	29,812	▲50,188	
福	健康ウォーキング事業	2年目	80,000	78,100	▲1,900	
教	北地区文化財・ウォーク事業	14年目	150,000	114,870	▲35,130	
教	北地区民俗芸能伝承事業	14年目	100,000	17,815	▲82,185	
教	地産地消食育事業	14年目	110,000	85,808	▲24,192	
再	イルミネーション設置事業	13年目	150,000	62,301	▲87,699	
再	お楽しみクリスマス会事業	3年目	90,000	74,523	▲15,477	
再	ふれあい朝市事業	14年目	400,000	213,226	▲186,774	
再	特産物育成事業	2年目	114,900	43,150	▲71,750	
他	まちづくり推進事業	11年目	339,000	337,890	▲1,110	
他	まちづくり広報活動事業	11年目	410,000	409,440	▲560	
他	4部会推進研修事業	2年目	150,000	148,860	▲1,140	
繰越金			0	780,502	780,502	
合計			2,623,900	2,660,475	36,575	

3 実施報告

[1] 防災・防犯に係わる事業

事業名	子ども見守り事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！</p> <p>地区の未来を託す子どもたちの笑い声が聞こえるまちを目指し、誰もが安心・安全に暮らせる、住みたい・住み続けたいまちづくりにより、未来への希望が持てるまちづくりに取組みます。</p> <p>(2) 地域ぐるみで子どもの成長を見守る！</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・学校行事、登下校において、子どもの安全、安心を確保するため、校内外において見守り活動を行う。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 参観日見守りの実施 場所 瓜生野小学校（1回）・倉岡小学校（0回） 内容 参観日等において、幼児の見守りを行う予定だったがコロナ禍で1回のみの実施だった。</p> <p>(2) 下校時の見守り活動 自治会毎に「見守り隊」を編成して「北地区子ども見守り隊」の帽子とベストを着用し、危険な箇所での安全確保と声かけを行う。</p> <p>(3) 実施時期 1) 令和4年4月～令和5年3月 2) 令和4年4月～令和5年3月 1年更新</p>														
事業費	85,293円														
対象者	小学生及び幼児（参観日）・小学校（下校時）														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年参観日見守り</th> <th>令和4年下校時見守り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>延 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>21人</td> <td>299人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21人</td> <td>延 2482人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年参観日見守り	令和4年下校時見守り	一般参加者	人	延 人	スタッフ	21人	299人	合 計	21人	延 2482人
年 度	令和4年参観日見守り	令和4年下校時見守り													
一般参加者	人	延 人													
スタッフ	21人	299人													
合 計	21人	延 2482人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・親として、大変助かっています。子供が無事に下校できるのが、何よりの安心です。これからも、よろしくをお願いします。</p> <p>・コロナ禍の行事変更の対応、ありがとうございました。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	B			⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	B	A	（次年度は青少協との連携も）		事業継続の必要性		④・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校時見守りの時間を「1時間程度」から「30分程度」（低学年中心の見守り）にして、見守り隊員の負担を軽減した。 ・下校時刻の変更については、すぐに自治会長や民生委員に連絡できた。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防災・防犯に係わる事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！</p> <p>(2) 安全なまちづくり 犯罪や交通事故が起こらない安全なまちづくりを進めるとともに、火災水害・震災などの災害を未然に防止、災害から地区住民・地区を守る災害に強いまちづくりを進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・突発的な自然災害に備えて避難、誘導、防災器具の取扱い、救急法等の訓練を通して地域防災力の向上を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 各自治会が、地域の実情に応じた訓練を計画実行する。</p> <p>(2) 計画の段階から宮崎市北消防署および宮崎市消防団北分団と連携し、より効果的な訓練とする。</p> <p>(3) 実施計画書をまちづくり推進委員会へ提出してもらう。</p> <p>(4) 今年度は、コロナ禍の影響で4つの自治会しか防災訓練を実施できなかった。</p> <p>(5) 実施時期 令和4年6月～令和4年12月</p>														
事業費	12,980円														
対象者	20の自治会・北地区在住者全員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>107人</td> <td>212人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>115人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	107人	212人	スタッフ	8人	18人	合 計	115人	230人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	107人	212人													
スタッフ	8人	18人													
合 計	115人	230人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・防災機材の点検ができた。</p> <p>・防災グッズの確認ができた。 (ヘルメット・ハンドマイク・ライト・リヤカー・担架など)</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	B	〔定例会 広報誌 呼びかけ〕での
	②住民の参加	B	B			⑥課題解決への作用	B	B	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の効果	⑦住民の満足度	B	B	
	④各種団体との連携	A	A			事業継続の必要性		④・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震に備えて、災害対策を推めることの重要性をくり返してきたことが良かった。 ・「きたまちだより」（広報誌）でくり返し防災意識を高める広報活動を行った。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防災・防犯に係わる事業

事業名	北地区青色パトロール推進事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！</p> <p>(2) 安全なまちづくり</p> <p>犯罪や交通事故が起こらない安全なまちづくりを進めるとともに、火災水害・震災などの災害を未然に防止、災害から地区住民・地区を守る災害に強いまちづくりを進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な北地区のまちづくりに貢献する。 ・下校時の児童の安全を見守る「子ども見守り隊」と連携を取りながら、犯罪のない明るく住みよいまちづくりを推進する。 														
事業内容・手段	<p>(1) 日 時 瓜生野方面通常・毎週金曜日14：55～15：25 倉岡方面通常・毎週火曜日15：05～15：35</p> <p>(2) 防犯パトロール講習会実施（予定）日 令和4年11月21日（講師：宮崎北警察署・坂口さん）</p> <p>(3) パトロール場所 それぞれの地区の児童の登下校路</p> <p>(4) 参加人数 青色パトロール実施し者証を保有する者を中心に7名</p>														
事業費	34,395円														
対象者	北地区在住者全委員・														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延 90人</td> <td>延 80人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	9人	8人	合 計	延 90人	延 80人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	9人	8人													
合 計	延 90人	延 80人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化した見守り隊の活動を補うために、今度益々重要になりますね。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	B	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度		A	A	
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性				④・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・見守り隊員と連携できたことやより広範囲に回ることができたこと。 ・パトロール実施者証の取得者を増やすことができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係わる事業

事業名	ふくしまつり事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！</p> <p>(2) 地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る</p> <p>地域ぐるみで子どもたちの成長を見守ったり、お年寄りや障害のある人を支え合うなど健康で楽しく暮らし続けられるまちづくりを進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の増進や体力の（維持）向上について、測定した各個人のデータをもとにして、具体的な方策を学ぶ。 北地区社協と共催することにより、福祉のまちづくり活動を支援する。 														
事業内容・手段	<p>(1) 交流会の実施（中止）</p> <p>会場 西部地区農村環境改善センター（多目的ホール）</p> <p>内容 ① 測定や検診を実施する。</p> <p>② 健康相談コーナーなどを設けて、各個人にアドバイスする。</p> <p>③ 介護用品コーナーなどを設けて、医療の情報を知らせる。</p> <p>④ バザーで農産物を販売する。（軽食も販売）</p> <p>(2) 実施時期 令和4年6月27日（日）→ 中止（コロナ）</p>														
事業費	9,180円														
対象者	北地区全住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3・4年度は中止。</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	0人	0人	合 計	0人	0人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	0人	0人													
合 計	0人	0人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> 今年度→中止（コロナ）……アンケートなし 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	/	/		広報	⑤事業の周知	/	/	
	②住民の参加	/	/			事業の効果	⑥課題解決への作用	/	/
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	/	/				⑦住民の満足度	/	/
	④各種団体との連携	/	/		事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係わる事業

事業名	福祉推進研修事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！ 地区の未来を託す子どもたちの笑い声が聞こえるまちを目指し、誰もが安心・安全に暮らせる、住みたい・住み続け暮らせるまちづくりにより未来への希望が持てるまちづくりに取り組めます。</p> <p>(2) 地域ぐるみで子どもの成長を見守る 地域ぐるみで子どもの成長を見守ったり、お年寄りや障害のある人を支え合うなど健康で楽しく暮らし続けられるまちづくりを進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の福祉団体や一般の希望者と合同で先進地を訪問し、見守り等福祉活動について研修する。 ・防災の施設を見学し、防災意識を高める。 														
事業内容・手段	<p>(1) 進地視察研修の実施（中止） 北地区社協と協力して、(防災施設研修)を実施</p> <p>(2) 内 容 宮崎県防災庁舎 津波避難施設「丘の上」} 見学・研修</p> <p>(3) 実施時期 令和4年10月18日（火）</p> <p>(4) 広 報 福祉事業連携部会運営委員・民生児童委員 福祉協力委員・福祉ボランティアに案内した。</p>														
事業費	122,330円														
対象者	まちづくり役員・民生児童委員・福祉協力委員・福祉ボランティア														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>26人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1人	1人	スタッフ	25人	24人	合 計	26人	25人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1人	1人													
スタッフ	25人	24人													
合 計	26人	25人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・「事件は会議室で起きてるんじゃないんだ！」とうい有名なセリフもありますが、多角的な対策を素早く練るための会議室も大事ですね。 ・この防災センターに限っては、大活躍しないことが望ましくありますが、早い時期の発生が予測される南海トラフ巨大地震の脅威に備え、また、毎年発生し、強大化していると言われる台風による災害の発生を極力減らすために、このセンターの情報収集力と発信力に期待し、緊急時は、大活躍してほしいと思います。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	B	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『ⓩ』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係わる事業

事業名	子育て支援事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！ 地区の未来を託す子どもたちの笑い声が聞こえるまちを目指し、誰もが安心・安全に暮らせる、住みたい・住み続け暮らせるまちづくりにより未来への希望が持てるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 地域ぐるみで子どもの成長を見守る 地域ぐるみで子どもの成長を見守ったり、お年寄りや障害のある人を支え合うなど健康で楽しく暮らし続けられるまちづくりを進めます。</p> <p>(3) 子育て環境の充実 子どもが元気に遊べる公園設備など、子育て環境の基盤となる施設整備を進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	・地域の福祉団体と共に、核家族化が進む中、安心して子育てが出来る環境づくりを支援する。														
事業内容・手段	<p>(1) 第1回子育て支援の実施 会場 西部地区農村環境改善センター（和室・小会議室・調理室） 内容 3B体操 家庭で身近な用具を使って親子でできる体操を覚え、楽しく運動できるようにする。</p> <p>(2) 第2回子育て支援の実施 会場 西部地区農村環境改善センター（和室・小会議室・調理室） 内容</p> <p>(3) 実施時期 ① 令和4年 6月 9日（木） ② 令和4年10月 4日（木）</p>														
事業費	29,812円														
対象者	北地区に住所を有する0歳～5歳児（保護者）または北地区出身者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度（2回）</th> <th>令和3年度（2回）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>⊕9 ⊖9 計18人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>21人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>39人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度（2回）	令和3年度（2回）	一般参加者	⊕9 ⊖9 計18人		スタッフ	21人		合 計	39人	
年 度	令和4年度（2回）	令和3年度（2回）													
一般参加者	⊕9 ⊖9 計18人														
スタッフ	21人														
合 計	39人														
住民の声（アンケートの結果等）	・アンケートなし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	/		広報	⑤事業の周知	B	/	
	②住民の参加	A	/			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	/
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	/		⑦住民の満足度		A	/	
	④各種団体との連携	B	/		事業継続の必要性				○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・遊具等を新たに購入するなどして、次年度に備えることができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	健康ウォーキング事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>・歩行を楽にする（支援する）ウォーキングポールやノルディックのポールを使用して股関節周りの筋肉や足腰の筋肉を強化し、歩行能力を維持する。</p>		
事業内容・手段	<p>実技講習の流れ</p> <p>①ウォーミングアップ ・足首回し ・つま先立ち ・片足を前に出す ・股関節 ・片足を上げて足首回す ・片足振り ・片足横振り ・体幹回し</p> <p>②基本のスタイルをマスターする 遠くを見て、身体が地面から垂直に伸びる感覚でまっすぐ立つ。 片足を足の付け根から前に出し、後ろの足で身体全体を押し出すようにして、かかとから着地。関節を柔らかく使って繰り返す。 ※一人ひとりの健康状態や目的に合わせて、歩くスタイルや道具は替えること。 ※ポールの適切な長さは、身長×0.63</p> <p>③740メートルの周回コースを実際に歩く。</p> <p>④クールダウン ・足首回し ・つま先を上げて、前に体を倒す ・体幹を回す ・足首を持って、うしろに引っ張る</p>		
事業費	78,100円		
対象者			
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	0人	2人
	スタッフ	14人	10人
	合計	14人	12人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・アンケートなし</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	/		広報	⑤事業の周知	B	/	
	②住民の参加	B	/			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	/
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	/		⑦住民の満足度		A	/	
	④各種団体との連携	B	/		事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <p>・コロナ禍、歩くこと自体の機会が少なくなる傾向にあるので、外出の基本である歩く楽しさを実感し、精神的にもプラスになった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	北地区民俗芸能伝承事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・北地区総合文化祭において民俗芸能発表会を催し、伝統文化への理解を深め、保存と次世代への継承活動を行う。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 北地区総合文化祭において民俗芸能を発表する。(中止) 会 場 西部地区農村環境改善センター (多目的ホール) 内 容 北地区総合文化祭での芸能発表 (保存会主催の継承活動)</p> <p>(2) 実施時期 令和3年11月21日(日) →中止(コロナ)</p> <p>(3) 広 報 チラシの自治会回覧。</p>														
事業費	17,815円														
対象者	保育園・幼稚園・小中学生・一般参加者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度(中止)</th> <th>令和3年度(中止)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度(中止)	令和3年度(中止)	一般参加者	0人	0人	スタッフ	0人	0人	合 計	0人	0人
年 度	令和4年度(中止)	令和3年度(中止)													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	0人	0人													
合 計	0人	0人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・アンケートなし。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	/	/		広報	⑤事業の周知	/	/	
	②住民の参加	/	/			事業の効果	⑥課題解決への作用	/	/
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	/	/		⑦住民の満足度		/	/	
	④各種団体との連携	/	/		事業継続の必要性				○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・特記事項ない。→ 中止（コロナ）							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『・』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	北地区文化財・ウォーク事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>		
目的 (期待される効果)	・地区内外の自然、名所、旧跡等を散策し地域理解を深めるとともに世代間の交流と健康づくりを図る。		
事業内容・手段	<p>●日時 令和4年11月19日(土) 午前8時30分～午後12時55分</p> <p>●コース 開会式 → 改善センター出発 → 糸原公民館着 → 河野会長の説明 (出席確認) 8:40 8:50(トイレ) ~9:35 → 倉岡城跡周辺の説明 → 倉岡城出発 → 穆佐城跡着 9:40~9:50 10:10 ガイドさんによる説明 → 天ヶ城公園着 → 天ヶ城歴史民俗資料館見学 10:15~10:50 11:20 11:25~11:55 → 改善センター着 → 閉会式 12:30 ~12:45 (12:55 解散)</p>		
事業費	114,870円		
対象者	北地区全住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	26人	(大人17・幼児1)18人
	スタッフ	11人	9人
	合計	37人	27人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・倉岡城は島津藩と伊東藩との戦いの歴史でもあり、多くの戦死者もあったようです。雨のため川の近くまで行けなかったのが残念です。</p> <p>・穆佐城跡は初めて来ましたが、実際に見たり、ガイドさんの話を聞いて「山城」というものがよくわかりました。ただ、雨の中で城跡の全景おやまわりの景色が見えなかったのがとても残念でした。きっと眺めのいい、見通しの利くところですね。</p> <p>・それぞれの歴史のある山城を見学できる機会はそんなになので、貴重な機会だったと思います。</p> <p>・瓜生野や倉岡にもいいところがあるので、そんな場所(名所・旧跡)を案内できるようになればいいなと思いました。</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	B	B			⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			事業の効果	⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性		⓪・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 雨天のため、歩いて回る時間を短縮したが、それでも予想以上に時間がかかった。糸原公民館で河野会長の説明を聞いた後、倉岡城跡に行って説明してもらった。 穆佐城跡は傾斜が急なところもあり、雨により道が滑りやすくなっている箇所もあったので、予定より歩行に時がかかった。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	地産地消食育事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・地区内の小学5年生を対象に、地産地消によるみそづくり体験を行う。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 地元で生産した大豆を加工して、みそが優れた食材である事を学び安心して食べられるふるさとの農産物の加工体験学習をする。 ボランティアと小学生の交流を通して小学生へまちづくりの参加を促す。</p> <p>(2) 実施時期 令和5年1月19日(木) 瓜生野小学校 令和5年1月20日(金) 倉岡小学校</p> <p>(3) 会場 ふるさと農産加工センター</p>														
事業費	85,808円														
対象者	地区住民及び北地区児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	10人	10人	合計	10人	10人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	10人	10人													
合計	10人	10人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>熟成したみそを小学生に届けたところ、大変喜んでもらい、感謝の手紙などを受け取り、スタッフ一同うれしかった。</p>														

3 実施報告

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	/		広報	⑤事業の周知	A	/	
	②住民の参加	B	/			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	/
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	/				⑦住民の満足度	A	/
	④各種団体との連携	B	/		事業継続の必要性				○ ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策を十分にとりながら、今年度は実施できた。 ・全員初めての体験だったので、わかりやすくていねいに説明・指導を行った。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）></p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）></p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『・』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	イルミネーション設置事業	実施年数	13年目(H28年度中止)												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・北地区にみんなのアイデアを生かしたイルミネーションを設置し、地域の賑わいと交流の場とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) クリスマスや年末・年始に当たる12月から新年の1月にイルミネーションを設置して地域の活性化とイメージアップに努める。 小中学校が冬休みの期間でもあるので、家族で楽しめる機会にする。 世代間の交流を深め、地域コミュニティを育む。</p> <p>(2) 実施時期 令和4年12月10日(土)～令和5年1月10日(火) (PM5時～PM10時に点灯)</p> <p>(3) 場 所 北地域センター壁面・植込み・センター前畑の一部</p>														
事業費	62,301円														
対象者	地区住民及び北地区児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,200人</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>34人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,234人</td> <td>1,528人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,200人	1,500人	スタッフ	34人	28人	合 計	1,234人	1,528人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,200人	1,500人													
スタッフ	34人	28人													
合 計	1,234人	1,528人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・ハートのイルミネーションがきれいだった。</p> <p>・梅の木に飾られたイルミネーションが象の形に似ていてきれいだった。</p> <p>・アニメや動物の形をしたイルミネーションも見たかった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B		広報	⑤事業の周知	B	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	B
	④各種団体との連携	B	A		事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんとお母さんのかかしが本当の人間のようでびっくりした。（思わず挨拶してしまった。） ・令和5年の干支の卯（兎）を象ったイルミネーションがかわいかった。 ・ハートのイルミネーションがきれいだった。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『ⓩ』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	お楽しみクリスマス会事業		実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。</p>															
目的 (期待される効果)	<p>・小学校ごとに、児童とスタッフが出しものやゲームを通して交流を深めるとともに、有意義な冬休み（年末年始）づくりのきっかけとする。</p>															
事業内容・手段	<p>(1) 小学校ごとにクリスマス会を開き、クリスマスや正月をお祝いする。 クリスマスソングをみんなで歌ったり、魚釣りゲームをした後に、クリスマスプレゼントをもらう。…瓜生野小学校 読み聞かせやフラダンスショーやハンドベルの演奏をみんなで楽しんだ後にサンタさんからクリスマスプレゼントをもらう。…倉岡小学校</p> <p>(2) 実施時期 令和4年12月23日（金）瓜生野小学校 令和4年12月24日（土）倉岡小学校</p> <p>(3) 広報 小学校・児童クラブ・放課後教室</p> <p>(3) 場所 北地域センター壁面・植込み・センター前畑の一部</p>															
事業費	74,523円															
対象者	瓜生野小・倉岡小の児童（幼児）															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>174人</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>40人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>214人</td> <td>227人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	174人	190人	スタッフ	40人	37人	合計	214人	227人
年度	令和4年度	令和3年度														
一般参加者	174人	190人														
スタッフ	40人	37人														
合計	214人	227人														
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・児童クラブの児童も参加したので大勢になった。</p> <p>・みんな、とても楽しんでいる様子だった。</p> <p>・コロナウイルス対策として十分に間隔をとった。</p> <p>・プレゼントを渡すのを最後にして、3密を避けた。</p>															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	B	
	②住民の参加	B	B			⑥課題解決への作用	A	B	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			事業の効果	⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性		⑦有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者には、大変好評であった。 ・団体や農協や企業からたくさんのクリスマスプレゼントをいただくことができ、子供たちも喜んでいました。 ・さらに、事業の内容をアピールしていくべきである。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『ⓧ』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	ふれあい朝市事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。 今までまちづくりに入れることにより、自らの手によるまちづくりに取り組みます。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にふまえた農産物、加工品を中心とした地元農産物への理解・関心を高め地域住民の交流を深め地域の活性化を図る。 														
事業内容・手段	<p>(1) ふれあい朝市の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞や折り込みや看板、文書回覧等を通して出店募集と来客を呼びかけ、農産物や加工品等を販売する。 ・地区住民をはじめ近隣住民にも参加を呼びかけふれあい交流の場とする。 <p>(2) 実施時期 第1回 ふれあい朝市 5月14日(第2日曜) →中止 第2回 ふれあい朝市 10月22日(第4日曜) →中止 第3回 ふれあい朝市 12月10日(第2日曜)</p> <p>(3) 広報 チラシの回覧・新聞折り込み・看板の設置・広報車で広報</p>														
事業費	213,226円														
対象者	地区内及び地区外の住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>600人</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>22人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>622人</td> <td>725人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	600人	700人	スタッフ	22人	25人	合計	622人	725人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	600人	700人													
スタッフ	22人	25人													
合計	622人	725人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、準備をしていたが最終的には安全面を最優先し、第1回と第2回を中止せざるをえなかった。(スタッフの声) ・久しぶりの「ふれあい朝市」だったので、楽しみに待っていた。 ・昨年も、コロナ禍で1度しか実施できなかったが、中止にならなくて良かったと思った。 ・開場前から並んで待っている人もいて、早朝からとても活気がありました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B		事業継続の必要性				④・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者は予想以上に多かった。宮日折込チラシ、回覧板添付のチラシ、近隣ゴミ集積所のラミネートポスター、看板等の効果であると思われる。（地区外からの来場者も多かった。） ・「ふるまい」として焼きいもを提供したが、大変好評であった。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『Ⓛ』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域教育に係わる事業

事業名	特産物育成事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。 今までまちづくりに入れることにより、自らの手によるまちづくりに取り組みます。</p>		
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・北地区のオリジナル産品を作り出す。 ・産地を形成し、ブランドを確立する。 		
事業内容・手段	<p>(1) 具体的には、キクイモと下仁田ネギの2品を北地区の特産物にできるように栽培を広めて行く。</p> <p>(2) 常に付加価値を加えて、収益を上げられるように工夫・改善し、地域を巻き込んだ取り組みにする。</p> <p>実施時期：令和4年度～令和5年度初旬 場 所：垂水・チェリーロード付近まちづくり圃場 広 報：地域振興運営委員・チラシにて一般募集（農場体験）</p>		
事業費	43,150円		
対象者	地域振興部会委員・一般募集		
参加者数 (内訳)	年 度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	10人	10人
	スタッフ	40人	10人
	合 計	50人	20人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）			

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度		B	B	
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性		⑦		有 ・ 無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・販売による売り上げは約35,000円であった。 ・スタッフおよび関係者に試食をしてもらったが、大変好評であった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『Ⓡ』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『Ⓢ』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません

3 実施報告

[2] その他の事業

事業名	まちづくり推進事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。 今までまちづくりに入れることにより、自らの手によるまちづくりに取り組みます。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり事業を円滑に推進していくために環境整備を図る。 ・まちづくり推進委員会に必要なリース車輛、任意保険を継続維持する。 														
事業内容・手段	<p>(1) ・業務処理が部員、事務局員の自己負担にならないように、まちづくりの広報活動及び部員、事務局員の移動が無理なくできるように、リース車を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり車を青色パトロール仕様にした。 ・パソコン購入により事務作業がスムーズに行えた。 <p>(2) 実施時期 令和4年4月～令和5年3月</p>														
事業費	337,890円														
対象者	まちづくり事務局・自治会・自治公民館事務・会計年度任用職員（1名）														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	2人	2人	スタッフ	2人	2人	合 計	4人	4人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	2人	2人													
スタッフ	2人	2人													
合 計	4人	4人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・リース車輛を利用した下校見守り隊の支援活動がよかった。 ・配布物を迅速に配達してもらい助かった。（自治会長より） 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度		A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				④有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・まちづくり事業を円滑にすすめることができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] その他の事業

事業名	まちづくり広報活動事業	実施年数	11年目
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。 今までまちづくりに入れることにより、自らの手によるまちづくりに取り組みます。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>・住民がまちづくりを身近に感じ、関心を持つために広報委員会を設け、広報委員の目でとらえたまちづくり事業の様子を「きたまちだより」として作成する。</p>		
事業内容・手段	<p>(1) 4名の広報委員と事務局2名でイベントや行事の写真取りや取材を分担し、その後編集会議を数回開くようにしている。</p> <p>(2) 自治会を通して、会員世帯に配布する。また、公共機関に置いてもらって自由に取ってもらっている。(広報誌：10月・3月年2回発行)</p> <p>(3) 「瓜倉だより」を発行し、リーダーの考えや各自治会のとりくみを紹介する。</p>		
事業費	409,440円		
対象者	北地区自治会加入世帯		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	4人	4人
	スタッフ	2人	4人
	合計	6人	8人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・地域出身者の記事を読み、身近に感じられ内容に興味がありました。</p> <p>・特にクロスワードパズルを解いて景品をもらえるのを楽しみにしています。</p> <p>・食事処の紹介も大いに参考になります。(毎回、楽しみで以前よりよく見るようになりました。)</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				○ ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区の食事処や有名人を特集して載せ、より多くの住民に読んでもらえるよう工夫した。 ・防災関連の記事も、住民にアンケートを実施し、その意見を載せることができた。 ・読みやすさやニーズに応える工夫をした。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄は記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] その他の事業

事業名	4部会推進研修事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>(1) 若者もみんな参加でまちづくりをしよう！ 今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民らの手によるまちづくりに取り組みます。</p> <p>(2) 若者が参加できる仕組みづくり 若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。</p> <p>(3) 持続的なイベントの開催 まちづくりの最初の一步として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。 今までまちづくりに入れることにより、自らの手によるまちづくりに取り組みます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>・他地域で地域づくりを実践している方の話（講話）を聞き、現場を実際に見学して研修することにより、朝市をはじめ地域の振興、教育、防災、福祉等、総体的に学習し、これからの北地区の事業の工夫やあり方の参考にする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 日 時 令和4年6月17日（金） 時 間 午前8時～午後2時40分</p> <p>(2) 研修地 日南市「油津商店街」 ・株式会社油津応援団代表取締役黒田泰裕 ・日南市岩崎三丁目7番32号</p> <p>(3) 特 色（概要） ・市民参加の接続可能なまちづくりをめざす ・高齢者の「サロン」づくり ・若者のアイデアを可能な限り生かしていく</p>														
事業費	148,860円														
対象者	北地区自治会加入世帯														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>23人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>25人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	23人	18人	スタッフ	2人	3人	合 計	25人	21人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	23人	18人													
スタッフ	2人	3人													
合 計	25人	21人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・ビジネスという面からの感覚が鋭いと感じた。</p> <p>・地域のリーダーの熱意で地球がこんなにも変わってくるのかと驚いた。 独特のユニークなまちづくりを進められているが、それにはそれなりの自信と苦勞に満ちているのではないかと思った。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A		
	②住民の参加	B	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				⑦・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が違えば条件も違うので、ただまねするだけでは成功しないと思うが、熱意は、周りに伝わっていくものだから、熱意と継続性はしっかり見習わなければいけないことがわかったこと。 ・地域住民の一人一人の良さを引き出して、やる気にさせることに尽きるのだと思うが、そのための知恵をどう絞り出すのか、相当の覚悟と英断が必要なことがわかった。 									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年12月・事業計画）>						<意見への対応>		対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業実施報告）>						<意見への対応>		対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

別 収 支 計 算 書

北地域自治区

北地区振興会 (まちづくり推進委員会)

事業名	子ども見守り事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	85,293	
2			
3			
4	合計 (A)	85,293	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	75,843	お茶代 1,416円×8ケース (11,328円) 2,880円×1ケース (2,880円) 2,400円×1ケース (2,400円) 帽子代 (見守り夏用キャップ) 913円×20キャップ (18,260円) イベントベスト代 2,695円×10枚 (26,950円) ブルゾン代 (長袖冬) 2,805円×5枚 (14,025円)
5	役務費	9,450	ハガキ代 63円×150枚 (9,450円)
6	使用料及び賃借料		
7	合計 (B)	85,293	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	12,980	
2			
3			
4	合計 (A)	12,980	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	12,980	防災訓練時お茶(3団体) 緑茶 59円×220本 (12,980円)
5	委託料		
6	役務費		
7	使用料及び賃借料		
8	備品購入費		
9	合計 (B)	12,980	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	北地区青色パトロール推進事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	34,395	
2			
3			
4	合計 (A)	34,395	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	34,395	お茶代 ①・② (5,520円) (青パト講習会) 綾鷹 ①110円×24本 2,640円 (青パト・パトロール) 綾鷹 ②120円×24本 2,880円 青パトブルゾン (税込) 1,925円×15枚 (M・L) (28,875円)
5			
6	委託料		
7	役務費		
8	使用料及び賃借料		
9	合計 (B)	34,395	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	ふくしま祭り事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	8,805	
3	その他	375	
4	合計 (A)	9,180	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	2,880	お茶代（連携部会） 120円×24本（2,880円）
5	役務費	6,300	ハガキ代 63円×100枚（6,300円）
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	備品購入費		
9	合計 (B)	9,180	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会(まちづくり推進委員会)

事業名	福祉推進研修事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	122,330	
2			
3			
4	合計(A)	122,330	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	4,800	お茶代 100円×48本(4,800円)
5	役務費	7,530	行事保険 ①・② 計1,230円 ①28円×40人 1,120円 振込手数料 ②110円×1件 110円 ハガキ代 63円×100枚(6,300円)
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	110,000	バス借り上料 110,000円 小型 55,000円×2台
8	合計(B)	122,330	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	29,812	
2			
3			
4	合計 (A)	29,812	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	需用費	18,672	お茶代 (4,800円) 100円×24本×2回 材料費2回 (13,872円)
4	役務費	11,140	行事保険 ①・② 計 1,340円 ①28円×20人×2回 1,120円 振込手数料 ②110円×2件 220円 ハガキ代・切手代①+②(9,800円) ① 63円×100枚 ②140円×25枚
5	委託料		
6	使用料及び賃借料		
7	備品購入費		
8	合計 (B)	29,812	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	健康ウォーキング事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	18,100	
2	繰越金	60,000	
3			
4	合計 (A)	78,100	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	78,100	ウォーキングポール ①8,100円×7本(セット) ②9,500円×2本(セット) ①+② (75,700円) お茶代 100円×24本 (2,400円)
2	役務費		
3	委託料		
4	使用料及び賃借料		
5	備品購入費		
6	合計 (B)	78,100	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	北地区文化財・ウォーク事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	114,870	
2			
3			
4	合計 (A)	114,870	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	14,360	お茶代 100円×50本(5,000円) スポーツドリンク(ポカリ) 120円×48本(5,760円) 弁当代(運営委員会) 360円×10個(3,600円)
5	役務費	1,510	行事保険 ①・② 計 1,510円 ①28円×50人 1,400円 振込手数料 ②110円×1件 110円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	99,000	バス借り上げ料 (99,000円) 小型バス 49,500円×2台
8	備品購入費		
9	合計 (B)	114,870	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	北地区民俗芸能伝承事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	17,815	
2			
3			
4	合計 (A)	17,815	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	15,015	インパネ・スタンダード 3,003円×5枚 (15,015円)
5	役務費	2,800	切手代 140円×20枚 (2,800円)
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	備品購入費		
9	合計 (B)	17,815	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	地産地消食育事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	85,808	
2			
3			
4	合計 (A)	85,808	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	71,348	青大豆種代 (16,500円) お茶代 ①+② (8,160円) ①2,400円×1ケース ②2,880円×2ケース オーエスワン 200円×12本 (2,400円) 糸・ビニール手袋・ポリ袋 (3,524円) 米麴加工代(2校) (16,800円) 材料代 (17,964円) 品代 (6,000円)
2	役務費	2,460	行事保険 ①・② 計 2,460円 ①28円×80人 2,240円 振込手数料 ②110円×2件 220円
3	使用料及び賃借料	12,000	大豆畑使用料(1年間) (6,000円) 大豆畑機械使用料 (6,000円)
4	合計 (B)	85,808	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	イルミネーション設置事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	62,301	
2			
3			
4	合計 (A)	62,301	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	需用費	7,301	お茶代 (5,760円) 綾鷹 48本×120円 イルミネーション点灯・電気料 ① 12月分 (1,101円) ② 1月分 (440円)
4	役員費		
5	委託料	55,000	イルミネーション設置・撤去一式
6	使用料及び賃借料		
7	備品購入費		
8	積立金		
9	合計 (B)	62,301	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	お楽しみクリスマス会事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	74,523	
2			
3			
4	合計 (A)	74,523	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	講師料 3,000円×2組
3	旅費		
4	需用費	68,523	りんごジュース（紙パック） 78円×230個×1.08(19,375円) 品代①・②合計(45,050円) ①250円×80個 20,000円 ②167円×150個 25,050円 消耗品・クリスマス用袋代 (4,098円)
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	合計 (B)	74,523	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	ふれあい朝市事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	213,326	
2			
3			
4	合計 (A)	213,326	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	10,000	バンド演奏
2	需用費	63,407	お茶代代 (5,760 円) 120 円×48 本 幕の内弁当代 (12,500 円) 500 円×25 個 事務用品 (29,161 円) 消耗品 (13,986 円) ガソリン代 (2,000 円)
3	役務費	22,069	行事保険 ①・② 計 1,510 円 ①28 円×50 人 1,400 円 振込手数料 ②110 円×1 件 110 円 チラシ折込・配送料 (20,599 円)
4	委託料	109,750	交通警備費 11,000 円×2 名 (22,000 円) 朝市チラシ印刷代 (78,650 円) 切手、ハガキ代 (9,100 円)
5	使用料及び賃借料	8,000	音響設備一式 (8,000 円)
6	合計 (B)	213,226	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	特産物育成事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	43,150	
2			
3			
4	合計 (A)	43,150	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	28,150	お茶代 ①+② (7,680円) ①2,400円×2ケース 4,800円 ②2,880円×1ケース 2,880円 肥料・ビニール①+②(6,798円) ① 肥料代 3,432円 ② ビニールマルチ 3,366円 袋・テープ代 (2,772円) 下仁田ネギ苗代 (9,900円)
2	役員費		
3	委託料		
4	使用料及び賃借料	15,000	畑賃借料・機械使用料代 令和4年度分 (15,000円)
5	備品購入費		
6	合計 (B)	43,150	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

(様式第7号)

北地域自治区
北地区振興会 (まちづくり推進委員会)

事業名	まちづくり推進事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	337,743	
3	雑収入	147	
4	合計 (A)	337,890	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	44,510	ガソリン代 (22,911 円) 事務用品 (18,419 円) お茶代 (2,880 円) 証明書発行手数料 (300 円)
2	役務費	89,330	任意保険 (年払) (89,330 円)
3	委託料		
4	使用料及び賃借料	204,050	車リース料(税込) ①前期: 令 4/4~4/8 迄 85,250 円 ②後期: 令 19,800 円×6 回 118,800 円 ①+② (204,050 円)
5	備品購入費		
6	合計 (B)	337,890	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	まちづくり広報活動事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	122,440	
2	繰越金	287,000	
3	雑収入	0	
4	合計 (A)	409,440	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	需用費	44,410	お茶代 (4,320円) 2,160円×2ケース クロスワードパズル景品 (2回) (39,140円) 袋代 (景品入) (950円)
4	役務費		規格外封書代 (2件)
5	委託料	365,030	広報誌 ①+② (330,000円) ①前期：154,000円×1回 ②後期：176,000円×1回 瓜倉だより (第2号・3号) 2回 17,515円×2回 (35,030円)
6	使用料及び賃借料		
7	備品購入費		
8	合計 (B)	409,440	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

北地域自治区

北地区振興会（まちづくり推進委員会）

事業名	4部会推進研修事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	148,860	
2			
3			
4	合計 (A)	148,860	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	2,500	菓子代
3	旅費		
4	需用費	46,550	お茶代 2,400円×1ケース (2,400円) 研修費・場所使用(25名参加) ①研修・資料代 33,000円 ②会場使用料 2,400円 ①+② (35,400円) 食事代 350円×25名 (8,750円)
5	役務費	810	行事保険 ①・② 計810円 ①28円×25人 700円 振込手数料 ②110円×1件 110円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	99,000	バス借り上げ料 (中型1台) (99,000円)
9	合計 (B)	148,860	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第 10 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 5 年 5 月 29 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字瓜生野 3 9 0 9 - 4 0
名 称 北地区振興会
(まちづくり推進委員会)
代表者の氏名 会長 長 友 安 弘
電 話 番 号 4 1 - 3 5 1 2 (FAX 兼用)

令和 4 年 5 月 27 日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については決算において 780,502 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和 4 年度収支決算 (見込) 書